

体育科学習指導案

単元名（題材名）「タッチラグビー」

令和5年10月 第6学年 指導者 新井 裕

I 単元（題材）の構想

1 単元観（題材観）

タッチラグビーは、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説体育編に例示されている競技種目ではないが、第5学年及び第6学年の目標及び内容において、「E ボール運動」の中の「ア ゴール型」に位置付けることができる。

タッチラグビーの特性として、ボールを持って相手をかかわしたり、味方とのパスワークでゴールまでボールを運んだり、相手チームの攻撃を防いだり、作戦を工夫したりして得点を競い合うことの楽しさを味わうことができる運動である。また、二つのチームがコート内で攻撃と防御に分かれ、攻撃側は楕円形のボールを持って走ったり、自分よりも前に投げずにパスをしながら陣地を進めたりして相手のゴールラインを越え得点を取ろうとする。防御側は攻撃側の児童にタッチすることで相手の前進を止めることができ、一定時間内で取れた得点を競い合う競技である。さらに、瞬発力や持久力、調整力をはじめ、多くの運動要素を含んでおり、様々な体力を向上させる競技である。また、試合を行うに当たりゲームの面白さを保証するために公平さや公正さが求められるため、ルールやマナーを守る姿勢や勝敗に対する公正な態度といった社会生活における望ましい態度を身に付けられる運動でもある。

2 研究との関わり

タッチラグビーは、ボールを手を持って自由に走り回れるため、サッカーやバスケットボールのようなドリブルをする必要がなく、運動が苦手な児童でも参加しやすい運動である。また、タックルがないため安全に楽しめ、相手の攻撃を止めるためにタッチをするので、ボールを持った鬼ごっこに近いスポーツで、運動経験を問わずに親しみを獲得することができるスポーツである。さらに、教師によるポイントを押さえた発問や言葉掛けを基にして、児童が対話を重ねながら自己やチームの能力に応じた課題を設定し、互いに協力し合いながらチームの課題解決のために必要な練習を行い、試合に生かすことにより、楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツへとつなげることができる。

3 単元（題材）の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	ボールを操作し、タッチラグビーの攻防の楽しさを味わうことができるようにする。	ボールを持たない時の動きを理解し、空いているスペースに動いてパスをもらおうとする児童が多い。
思考力、判断力、表現力等	チームの特徴に応じた作戦を立てたり、練習を工夫したりすることができるようにする。	客観的にチームの課題を把握し、チームに適した練習を工夫するまでには至っていない。
学びに向かう力、人間性等	ルールやマナーを守って「One for all All for one」の精神に則りチームの仲間と助け合って運動に取り組むことができるようにする。	友達に励ましの言葉を掛けたり、アドバイスしたりして、体育の授業を楽しんでいる様子が見られる。

4 評価規準

知識・技能	①「正確に投げる」「正確に受ける」「素早く運ぶ」といったボール操作をしたり、作戦に応じた動きをしたりしている。 ②相手にタッチし、攻撃を止め、守っている。
思考・判断・表現	①ゲームのルールを理解しチームの特徴に応じた作戦を立てている。 ②作戦を振り返り、試行錯誤しながら練習方法を工夫している。 ③チームの作戦を成功させるために自分の役割を考えて取り組んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	①ルールを理解し安全に気を付けながらチームの仲間と助け合って練習やゲームに取り組もうとしている。 ②用具の準備や片付けを自主的に行い、競技の中で分担された仕事を進んで果たそうとしている。

5 指導と評価の計画（全9時間）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価	
つかむ	1	■タッチラグビーの単元の見通しをもてるようにする。 □オリエンテーション（★タッチラグビーの競技動画）・学習の決まり・学習の流れを理解し、試しのゲームを行う。			○	◆タッチラグビーに進んで取り組もうとしている。 <観察（態①）>	
	[単元の学習課題] 対話を通して作戦や練習を工夫し、チーム力を高め、タッチラグビー大会を成功させよう。						
	2 3	■ルール・基本技能について理解して、ドリルゲームやゲームを行えるようにする。 □ルールの説明を聞く。 □ドリルゲームをする。 □ゲーム	○		○	◆ルールを理解し、練習やゲームをしている。 <観察（態①）> ◆仲間がキャッチしやすいところへボールを投げている。 <観察（知①）> ◆相手にタッチして攻撃を止めている。 <観察（知②）>	
追究する	4	■連携プレイができるようにする。 □ゲーム①（課題を見付ける） □練習をする。 □ゲーム②（練習の成果を発揮する）			○	◆チームの特徴に合った連携プレイを見付けている。 <観察（思①）>	
	5 6	■チームの特徴を生かした作戦を考え、練習とゲームを行えるようにする。 □ゲーム①（課題を見付ける） □練習をする。 □ゲーム②（練習の成果を発揮する）			○	◆チームの特徴に応じた作戦を立てている。 <観察（思①）> ◆チームの作戦を成功させるために自分の役割を考えている。 <観察（思③）>	
	[本時のめあて] チームに適した作戦を考え、練習やゲームをしよう。						
	7 8	■作戦を振り返り、練習方法を工夫して、ゲームに生かせるようにする。 □ゲーム①（課題を見付ける） □練習をする。 □ゲーム②（練習の成果を発揮する）			○	◆作戦を振り返り、試行錯誤しながら練習方法を工夫している。 <観察（思②）> ◆チームの作戦を成功させるために自分の役割を考えている。 <観察（思③）>	
まとめ	9	■学習したことを生かして攻防を展開できるようにする。 □タッチラグビー大会を行う。	●	●	●	◆友だちと励まし合ってゲームを行い、タッチラグビーの楽しさを感じている。 <観察（態①②、思③、技①）>	

II 第5時の学習

1 ねらい チームの特徴に応じた攻め方の作戦を考え、課題に合った練習方法を選ぶことができるようにする。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 準備運動をする。(導入6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校オリジナルのリズム体操をする。 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> チームに適した作戦を考え、練習やゲームをしよう。</p> </div>	<p>○リズム体操から楽しい雰囲気を作るように、声を出して盛り上げる。また、それができる児童に促す。</p> <p>○学習中、常にめあてに立ち返れるよう、ホワイトボードに掲示しておく。</p> <p>◎課題発見のための言葉掛け ゲーム①で上手くいったところ、いかなかったところを見付けるように言葉を掛ける。</p>
<p>2 ゲーム①をする(★)。(展開①8分)</p> <p>(攻撃側)</p> <ul style="list-style-type: none"> パスが回ってきてもよい準備をする。 <p>(守備側)</p> <ul style="list-style-type: none"> 規律よく相手を通さないように守る。 	<p>○兄弟チームでゲームの様子を撮影させる。</p> <p>○「できる」ことだけでなく、友達のプレイを「みる」ことや、見て気付いたことを伝え合うことも大事であると指導する。</p>
<p>3 課題をつかむ。(展開②5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲーム①で感じた課題を発表する。 教師の発問やフィードバックから、課題に気付く。 <p>S: 繋がらないが多かった。</p> <p>S: キャッチできなかった。</p> <p>・何を意識したらよいかに気付く。</p> <p>S: 手の準備をする。</p> <p>S: 捕りやすいパスを出す。</p> <p>・具体的な動き方に気付く。</p> <p>S: ボールを持った人の斜め後ろにいる。</p> <p>S: ボールを持った人に付いて行く。</p> <p>S: 前に動きながらパスをもらう。</p>	<p>◎課題発見のための発問 ゲーム①をやってみてどうだったか、課題が見付かったかを確認する。</p> <p>○児童から出たキーワードを板書に残す。</p> <p>◎ゲーム①を見た教師のフィードバック 技能面やボールを持っていない時の動きについて、具体的にフィードバックし、問い掛けによって課題に気付かせる。</p> <p>◎練習計画を立てるための発問 技能面の課題をどうしたら解決できるか発問する。</p> <p>◎課題解決のための発問 具体的にどのような動きの練習をしたらよいか発問する。</p> <p>○目的意識をもった練習になるようにする。</p>

<p>4 作戦を考え練習する (★)。(展開③12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を共有し、練習を考える。 <p>S : この動きを練習しよう。</p> <p>S : 走りながらパスの練習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習方法を兄弟チームに共有する。 <p>S : こんな練習するといいよ。</p> <p>S : アイコンタクトも大事だね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続的な攻撃について話し合い練習する。 <p>S : パスしたら、次はもらうための準備。</p> <p>S : 次の次のプレイを予測して動こう。</p> <p>S : 広がって横を少し大きく使ってみよう。</p>	<p>○ゲーム①を撮影した動画等を共有させ、課題や作戦を考えさせる。</p> <p>◎積極的に児童の輪に入り、課題発見及び解決に向けての対話を促す問い掛けを行う。やり取りが順調に行われている場合には、見守りながら、称賛の言葉を掛ける。</p> <p>◎協働的な学習を促す言葉掛け 練習方法を兄弟チームに共有させる。</p> <p>◎発展的な学習を促す言葉掛け 練習によって連携が高まってきている場合には、次時につながる発展的な動きを考えさせて、練習するよう促す。</p>
<p>5 ゲーム②をする。(展開④11分)</p> <p>S : ボールを持った人に付いて行く。</p> <p>S : パスをもらう準備をしよう。</p> <p>S : 守りは一列になって。</p>	<p>○練習の成果が出ている児童を賞賛する。</p> <p>○試合に出ていない児童に、指示を出したり応援したりするよう促す。</p>
<p>6 本時を振り返る。(終末3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットに本時の振り返りを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム②は、ゲーム①より上達しましたか。 ・先生の発問で、自分たちの課題に気付きましたか。 ・どういった課題に気付きましたか。 ・チームの課題に応じた作戦が考えられましたか。 ・それは、どんな作戦ですか。 ・自分の役割を理解し、練習やゲームができましたか。 </div> <p>S : ゲーム②は、パスがたくさんつながった。</p> <p>S : チームの課題がはっきりした。</p> <p>S : チームに合った作戦が考えられた。</p> <p>S : 作戦を意識して練習やゲームができた。</p>	<p>○活躍が目立たない児童の動きや応援などの貢献に対して、全体の前で紹介し称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの特徴に応じた作戦を立てている。 <観察・記録(思①)> ・チームの作戦を成功させるために自分の役割を考えている。 <観察・記録(思③)> </div>

3 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> これまで ノックオン スローフォワード オフサイド </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ここでは 友達のプレイを「みる」 考えを伝え合う「支える」 </div>	<p><めあて></p> <p>チームに適した作戦を考え、練習やゲームをしよう。</p> <p><key word></p> <ul style="list-style-type: none"> ・味方との距離 ・パスをもらいやすい位置、場所 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> この後は </div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">対戦表</p> </div>
--	--	--